建設コンサル業務にも総合評価

年内にも試行案件選定

国交省

国土交通省は、建設コンサルタントなどの業務委託に当たり、価格だけではなく、競争参加者の技術的能力も合わせて評価する総合評価方式の導入を検討している。年内に、地方整備局が発注するコンサルタント業務の中から1件だけを選定、第一弾を試行する。

技術力と価格の総合的な評価・選定ができ、業務の規模やレベルによってそれぞれの重み付けを設定可能な方式を目指すものと見られる。「総合評価方式をどのような規模の業務に適用するのか」などについては試行結果を踏まえて詰めていく考え。

初弾（全国で1件）に引き続き、17年度内に数件程度を試行して、結果を評価・分析。それを基に、18年度にガイドラインなどを策定して、各地整に通知する方針だ。

公共工事の品質確保の促進に関する法律（公共工事品確法）や、その基本方針の趣旨を踏まえ、各地方整備局では、▽プロポーザル方式による契約方式の拡大▽即日評価型プロポーザル方式（技術者評価型）の積極的な活用▽競争性をより確保するため公募による競争方式を活用―などといった方針を打ち出している。総合評価の導入もこうした施策の一環。

環境保全のBL―bs部品

電気給湯機を認定

ベターリビング

ベターリビングは、「環境の保全に寄与する特長を持つ優良住宅部品」（BL―bs部品）として、11月15日付けで四変テック（本社・香川県多度津町）のヒートポンプ式電気給湯機を認定した。BL―bs部品のうち、環境保全の分野での認定は今回が5番目。認定部品の情報は、消費者や工務店などに提供し、普及・促進を図る。

同部品は、システム全体のエネルギー効率が高く、一般の電気給湯機（ヒータ式）と比べて、年間の消費電力量が3分の1程度で済むという。また、熱交換を媒介する物質（冷媒）にオゾン層を破壊する物質を使っていないため、グリーン購入法の判断基準にも適合している。

ベターリビングでは、16年3月から環境に対する消費者の関心に応えることなどを目的にBL―bs（ベター・リビング―ベター・ソサエティー）部品の認定を始めた。認定部門は、①環境保全②住宅ストックの形成・活用③ユニバーサルデザイン④防犯性の向上⑤その他―の五つ。詳細はホームページ（http://www.blhp.org/）に掲載。

アイキャスの家（工法）

26日、発表説明会

創造企画等

アーテック工房㈱（吉松道晴社長、横浜市）と㈱創造企画（中村歳久社長、鹿児島市）の共催による「空気を科学する―アイキャスの家（工法）発表説明会」が26日午後1時30分から、鹿児島市のかごしま県民交流センターで開かれる。主催者では、設計・施工業者など関連企業に広く参加を呼びかけている。

同説明会は、25日から3日間の日程で開催される「かごしま住まいと建築展2005」において、同社が4年連続で出展することから、建築展の出展と併せて行われる。

アーテック工房㈱の木武謙技術担当が、抗酸化性能住宅アイキャス工法（ICASの家）について同商品の特性などについて紹介する。同工法は、室内に使用した「ヘルスコート」を通電回路として木質炭素を充填した金属製カプセル「アダプター」と接続することで環境エネルギー（イオンバランス）をコントロール。また、室内外の空気循環、さらに周囲は抗酸化環境を頼性の高い抗酸化環境を創出する。

なお、創造企画では、鹿児島市の同社内にアイキャス体験ルーム「憩いの森」を開設。2時間で血液のサラサラ度を体感できるという無料体験も実施している（要予約）。

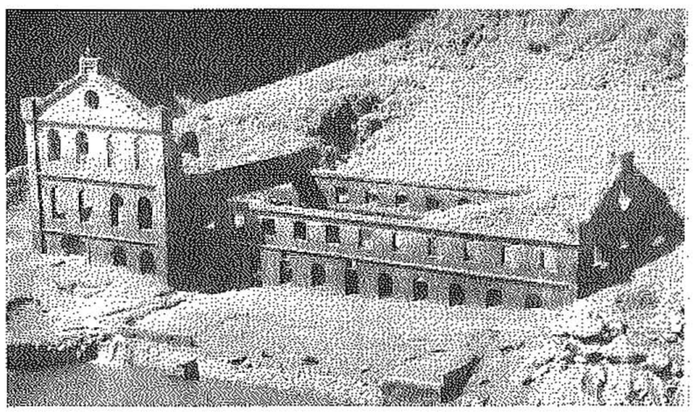
問い合わせは、㈱創造企画（鹿児島市玉里団地1―8―17 ☎099・220・5131）まで。

文化審議会

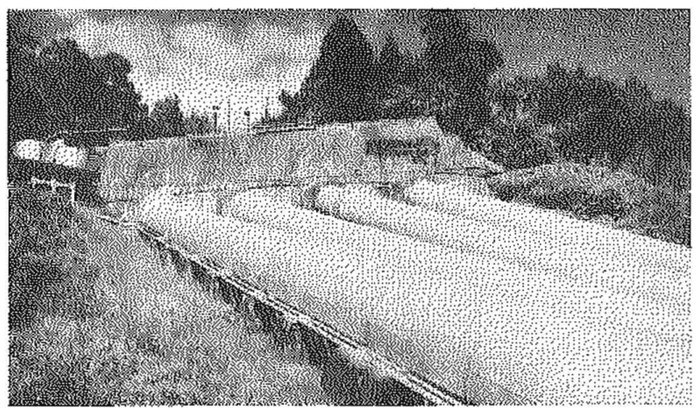
登録有形文化財に登録へ

旧曽木発電所本館等 本県から3件答申

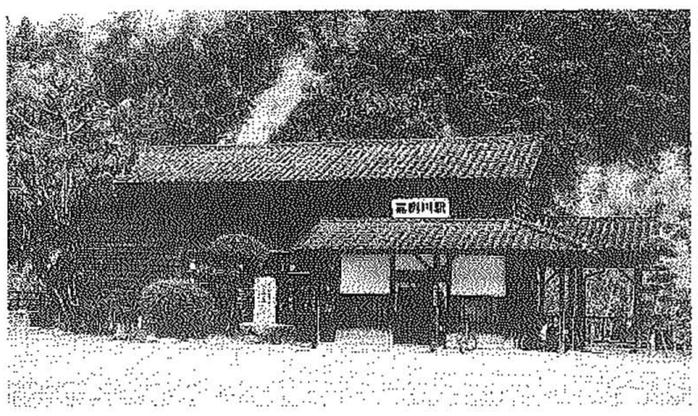
国の文化審議会は18日、大口市の「旧曽木発電所本館」と「旧曽木発電所ヘッドタンク」、霧島市の「JR肥薩線嘉例川駅駅舎」の3件を国の登録有形文化財（建造物）に登録するよう文部科学大臣に答申した。後日、文化登録原簿への登録を経て正式に登録される見込み。



旧曽木発電所本館



旧曽木発電所ヘッドタンク



JR肥薩線嘉例川駅駅舎

旧曽木発電所ヘッドタンクは、霧島市の嘉例川駅駅舎の所在地は大口市宮人。建造年はいずれも明治42年。本館は、同市南部に位置する旧水力発電所施設で、発電機棟と事務棟で構成。外壁イギリス積とし、上部を欠円アーチとした開口部を密に配する。つまには丸窓を設け、コーニスを階段状につくるなど変化をつける。九州南部の大規模煉瓦建築として最初期のもの。ヘッドタンクは、本館より北東の高台に位置。発電用水の流下水量を調節するための発電所関連施設。切石積の構造物で、モルタル仕上げとした法面には、水圧鉄管を据えるための穴を4カ所設ける。残存する鉄管用礎石を含む。九州に築かれた初期の水路式発電所施設の遺構。

JR肥薩線嘉例川駅駅舎の所在地は霧島市隼人町嘉例川2176。同町北部に位置し、南面して建つ。桁行16m、梁間6m、切つま造、平入りで外壁は真壁と下見板張りからなり、北側にはプラットホーム上屋を付ける。東半に待合室、西半に事務室を配し、換気口など建設時の建造をよく残す。旧鹿児島本線の明治期の遺構として貴重。

出水地域木材利用推進協議会等 くらしと木材まつり

きょうから、出水市で

出水地域木材利用推進協議会と県出水農林水産事務所は19、20日、出水市陸上競技場そばの健康広場で「くらしと木材まつり」を開く。今年のテーマは、守ろう森林、すすめよう地材地建！。

竹細工・木工教室や木造住宅の建築、丸太切り競争のほか、人気の上棟式（もち投げ）、苗木の無償配布、木の手形切抜き等がある。

県解体工事業協組

総会に25日

県解体工事業協同組合（森山睦夫理事長）は25日午後6時から、鹿児島市の鹿児島東急インで第22回（第21期）通常総会を開く。

成建ホーム

来月6日、忘年会

㈱成建ホーム（澁谷君男社長、薩摩川内市）は12月6日に同市のホテル・オートリで忘年会を開く。

私の健康手帳 第31回 風邪②

風邪、その種類と症状

風邪症候群は気道の炎症を引き起こしているので、炎症の主体となっている場所ごとに、鼻炎、へんとう・咽頭（いんとう）炎、喉頭（こうとう）炎、気管支炎、肺炎に分類されています。

1 **普通感冒** いわゆる鼻風邪で、くしゃみ、鼻水、鼻づまり。のどの痛みや咳も少なく、上気道と鼻の粘膜の炎症が主体です。

2 **インフルエンザ** 発熱や筋肉痛、関節痛、全身倦怠感など、全身症状が強く出て、重篤な合併症が起きやすいのが特徴です。

3 **へんとう・咽頭（いんとう）炎** 炎症の主体がへんとう・咽頭（いんとう）にあるため、鼻水やせきなどに比べて、のどの痛みが強いのが特徴。頭痛や発熱もあります。

4 **咽頭結膜熱（プール熱）** 代表的な夏風邪で、熱と咽頭（いんとう）炎、結膜炎を特徴として、プールを介して流行することがあります。

5 **気管支炎** 炎症が気管支にまで及んだ状態で、鼻水、せき、咽頭（いんとう）痛の症状に加えて、せきが激しくなり、たんも出てくるようになり、ぜんそく症状や呼吸困難も出ます。

6 **肺炎** せきが激しく、たんも多く、胸痛や高熱なども加わり、白血球が増加し、レントゲン写真を撮ると肺炎の影も認められ、入院加療が必要になります。乳幼児や高齢者の場合は死亡原因ともなり得る状態です。

7 **異形肺炎** 肺炎と同様の症状があるのにもかかわらず、胸部聴診での肺炎の特徴は聴き取れず、白血球も増加していないのに、レントゲンでは肺炎の所見のあるもの。マイコプラズマやクラミジア、ウイルスが原因です。

（次回に続く）

監修 松本醫院 院長 松本英彦先生